

デーリー東北

2025年(令和7年)6月5日(木曜日) (11)

八戸工業大と六ヶ所村
産業協議会による本年度
の「HIT機械工学基礎
プログラム」が5月31日、

教育機関が学生以外に
身に付ける。
八戸工業大と六ヶ所村
産業協議会による本年度
の「HIT機械工学基礎
プログラム」が5月31日、
教育機関が学生以外に

六ヶ所

15人、力学の知識学ぶ

村で開講した。協議会会員企業の若手社員が講義を通じて機械技術者に必要な専門的な知識を

村内企業の「アトムワーカークス」に勤務する日時
優翔さん(19)は取材に
「働いている部署で力学の知識が必要なので、力を入れて学びたい」と語った。

(齋藤桂)

HIT機械工学基礎プログラム開講



受講生が専門知識を学ぶ「HIT機械工学基礎プログラム」

学習課程を提供する「履修証明プログラム」。八戸大の教員が村に出向き、「材料力学」「機械力学」「熱力学」「流れ学」を講義する。2年で修了となる。

開講から3年目を迎えた本年度は会員企業5社から15人が受講。このうち9人が最終年の2年目で、6人が1年目。8月2日までスパハウスろっぽっかを会場に、材料力学と機械力学の講座を各4回受講する。

31日は、協議会の千田昇会長が会場を訪れ、受講者を激励後、教員による材料力学の講義に入った。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。